

未来に向けた学校施設づくり

ー学校施設全体に子供や教職員の多様な活動の場を
どう構築するかー

2025年

1月29日(水)

13:30~17:30

会場：文部科学省3階講堂

参加費無料/日英韓同時通訳/対面開催（定員300名）・同時オンライン配信



ハーコート・テラス小学校（アイルランド・ダブリン）



新泉小学校（韓国・ソウル）



カンダラ小学校（ニュージーランド・ウェリントン）



新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、改めて学校が、学びの場であるとともに、子供たちにとって、安全・安心な居場所を提供する福祉的機能や、社会性・人間性を育む社会的機能も有する場であることが再認識された。新型コロナウイルス感染症の対応を超えて、諸外国では学校施設という子供たちが集い、学ぶ場である実空間の価値がどう捉え直されたのか、学校施設を取り巻く諸外国の最新の動向も踏まえ、新しい時代の学びを支える学校施設づくりについて、子供たちの学習空間と教職員スペースの両面から考える。

星の杜小学校（日本・富山県魚津市）



トニー・シェパード
建築家



ステファン・マッシュス
アイルランド教育省
予算・プログラム管理支援ユニット
テクニカルマネージャー



マーク・ケリー
アイルランド教育省
テクニカルマネージャー



イ・サンミン
韓国教育開発院
教育施設・環境研究センター長



レネレ・グロナート
ニュージーランド教育省
学校設計ディレクター



アニーエタバシ・
アックリー
ニュージーランド教育省
研究・建物性能主任アドバイザー



ローレン・スミス
ニュージーランド教育省
戦略的資産管理担当マネージャー



長澤 悟
東洋大学 名誉教授
教育環境研究所 所長
国立教育政策研究所 客員研究員

お申し込み方法

WEBの申込みフォームからお申し込みください。※定員数になり次第、締切りになります。

申込受付：令和6年12月10日(火)~令和7年1月26日(日)

▷ 特設サイト <https://www.nier.go.jp/shisetsu/event/2024/>

▷ お問い合わせ ✉ shisetsu@nier.go.jp



<共催>



東京科学大学 教育施設環境創造センター

<後援>



未来に向けた学校施設づくり

2025年1月29日 水

ー学校施設全体に子供や教職員の多様な活動の場をどう構築するかー

13:30~17:30
文部科学省 3階講堂

プログラム

日英韓同時通訳

13:30~13:35	◆開会挨拶	池田 貴城 国立教育政策研究所長
13:35~13:40	◆来賓挨拶	小原ベルファリゆり 経済協力開発機構 (OECD) 事務局 教育・スキル局 就学前・学校教育課長
13:40~13:50	◆趣旨説明	深堀 直人 国立教育政策研究所 文教施設研究センター長
【第一部】基調講演		
13:50~14:15	◆講演 1 アイルランド	「アイルランドの学校施設部門と共創環境」 ステファン・マシューズ アイルランド教育省 予算・プログラム管理支援ユニット テクニカルマネージャー マーク・ケリー 同 テクニカルマネージャー 「ハーコート・テラス・スクール (ダブリン) 革新的な学習環境を備えた新しい都市型小学校 ー設計コンペのコンセプトから完成した学校の利用までー」 トニー・シェパード 建築家
14:15~14:40	◆講演 2 韓国	「未来の教育のための学校空間の再構築事例 (学校空間の革新と学校の複合化を中心に)」 이상민 (イ・サンミン) 韓国教育開発院 教育施設・環境研究センター長
14:40~15:05	◆講演 3 ニュージーランド	「ニュージーランドにおける安全・快適でコストエフェクティブな 学習空間に向けた取組」 レネル・グロナート ニュージーランド教育省 学校設計ディレクター アニービエタバシ・アックリー 同 研究・建物性能主任アドバイザー ローレン・スミス 同 戦略的資産管理担当マネージャー
15:05~15:30	◆講演 4 日本	「ウェルビーイングの観点から学校施設を見つめ直す ー新しい学びを生み出す空間、支える場ー」 長澤 悟 東洋大学 名誉教授 / 教育環境研究所 所長 / 国立教育政策研究所 客員研究員
休憩		
【第二部】パネルディスカッション		
16:00~17:20	◆パネルディスカッション	「各国における学習空間や教職員スペースのあり方」 パネリスト : 上記各講演者 モデレーター : 深堀 直人 文教施設研究センター長 (会場の参加者も交えた質疑応答も行います)
17:20~17:30	◆閉会挨拶	高田 潤一 国立大学法人東京科学大学 執行役副学長 (国際担当)